

田富小だより

令和3年度
第11号
2月25日
田富小学校



第3回学校運営協議会を開催

回 覧

令和3年度の学校運営協議会も2月21日に開催した第3回をもって本年度のまとめとなりました。

今回の協議内容は、①学校評価（自己評価）についてのご意見等を伺い、協議すること、②来年度の学校経営方針についてのご意見等を伺い、協議することの2つです。当日は、学校評価について、様々なご意見を頂き、また、活発な話し合いがなされ、奥深く協議することができました。例えば、「ネット・ゲーム」については、まだまだ、約束の時間を超過して遊んでいる児童の割合が高いことや、目安として定めた就寝時刻を過ぎてゲームや動画を視聴している児童が多くいるという現状が報告され、情報化社会の急速な進歩とともに、児童の生活にも大きな変化が起っていることが実感できました。こういった課題には根気強く、継続して取り組んでいかなければならないことが確認されました。また、ヘルメットの着用率については、数年前に比べ、かなり割合が高くなってきてはいるが、近場で自転車を乗る際にヘルメットを被る児童をあまり見かけないという報告もありました。反対に、比較的遠い距離を乗るときにはとても着用率が高いということもわかりました。自分の命を守るものであるので、しっかりと意識して被れるよう、これからも引き続き取り組んでいくことが大切だとも話されました。日頃の学習活動の中では、「つなげる日記」の有効性が話されました。また、ICT機器の有効活用の継続についても協議されました。感染症が蔓延している状況なので、家庭においても遠隔授業が受けられるようになっているのかといった意見もありました。この事柄については、市教委とも協働しながら、対応できるように着々と計画を進行しているところで



す。また、「学校が楽しい」と回答している児童が殆どであるのに対し、「あまり楽しくない」と言っている児童もいると報告されています。ある委員さんは、「自ら「あまり楽しくない」と発言できることが素晴らしいと思う」と話し、「こういった児童生徒に、どのような働きかけをし、どのように学校を「楽しい」と思ってもらえるかを推進していくことが大切であり、中学校でも様々な取り組みをしている」といったことも、委員である田富中学校校長先生より出されました。コロナ禍の地域行事への参加などについての数値が低くなっていることなどについては、コロナの影響があることを前提に、地元の様子も報告していただきながら、地区の現状についても知ることができました。この日の協議内容を活かした令和4年度の学校経営方針についても承認していただきました。令和4年度は、子ども達がさらに成長できる学校運営ができればと考えています。保護者の皆様には、今後、12月のアンケート結果を踏まえて、3月初旬には学校評価をお知らせできると思います。どうぞよろしくお願い致します。



「あまり楽しくない」と言っている児童もいると報告されています。ある委員さんは、「自ら「あまり楽しくない」と発言できることが素晴らしいと思う」と話し、「こういった児童生徒に、どのような働きかけをし、どのように学校を「楽しい」と思ってもらえるかを推進していくことが大切であり、中学校でも様々な取り組みをしている」といったことも、委員である田富中学校校長先生より出されました。コロナ禍の地域

行事への参加などについての数値が低くなっていることなどについては、コロナの影響があることを前提に、地元の様子も報告していただきながら、地区の現状についても知ることができました。この日の協議内容を活かした令和4年度の学校経営方針についても承認していただきました。令和4年度は、子ども達がさらに成長できる学校運営ができればと考えています。保護者の皆様には、今後、12月のアンケート結果を踏まえて、3月初旬には学校評価をお知らせできると思います。どうぞよろしくお願い致します。

6年生を送る会を実施します

まだまだ、県内の感染も急速に減少しているわけではありませんが、小中学校においては、日ごとに感染者数が減少していることは確かです。そんな中、お世話になった6年生に、5年生以下が感謝を伝える「6年生を送る会」の準備が着々と進行中です。当然、体育館に全校児童が入ることはできないので、3密を避けることができる校庭を、その会場に選んでの実施です。1年生は書道&ダンスパフォーマンス、2年生は運動会で6年生が行ったフラッグのマスゲームを模したパフォーマンス、3年生は垂れ幕を使ってのパフォーマンス、4年生はラグビーで知られる「ハカ」をモチーフにしたパフォーマンス、5年生は、6年生の活動を振り返っての演劇仕立

でのパフォーマンスのようです。どの学年にも共通しているのは、6年生に心から感謝を伝えるということです。そんな下級生の気持ちが届いてくれればいいなあと思います。会場が校庭であるので、ソーシャルディスタンスをとりながらの歌唱や呼びかけもあります（勿論、マスクは着用のまま）。ここのところ聞くことがなかった合唱や呼びかけが6年生の心に響き渡ることと思います。卒業までのカウントダウンカレンダーの残りの枚数がだんだん減ってきているのを実感している6年生が、下級生の気持ちをどう受け取り、卒業していく者として、下級生に何を残していくのかも気になるところです。丁度、当日がこのたよりの発出日であるため、その様子をお伝え出来ませんが、きっと心に響く思い出深い会となるはずです。新児童会の進行で素晴らしい「送る会」を創り上げてほしいと思います。

スクールフェンスギャラリー新規展示

昨年このお便りの中でもお話ししたスクールフェンスギャラリーの新規展示についてですが、なかなか時間が作れず、遅くなってしまいました。このほど、ようやく県道甲府市川大門脇沿いに卒業生が2学期に制作した作品の新規展示が整いました。6年生卒業の1か月前でかろうじてセーフの状況です。

さて、今回の作品について少し解説させていただきます。作品制作のための一貫したテーマは「学び舎」です。6年間の生活の中で、自分が最も好きな場所や思い出深い場所、友と汗を流して頑張った場所など、多くの場所を選定し、思いを込めて描き上げました。授業などでの印象が強かった児童の中には、「机」や

「教科書・ノート」を描く子もいました。また、場所への思いはその季節によって変化しています。桜の木をモチーフにした児童は、桜の花咲き誇る季節の、希望一杯の思い出を描いていると思いますし、中庭の木陰を描いた児童は、いつもの下校時に見る風景を感慨深く表現しているようです。授業中に教室から眺める風景や、転んで痛い思いをしたちょっと嫌な場所、自分を育ててくれた校舎の全景などを描く児童もあり、子どもによって感じ方は様々です。保護者の皆様や地域の皆様にも小学校時代の学び舎の思い出があるのではないのでしょうか。

私は田富ではなく、敷島小学校卒業なのですが、入学したときは木造の古めかしい校舎で、廊下や教室の床を雑巾がけしていると、ちょっとだけ飛び出た釘で雑巾が破れたり、手にけがをしたりするほどでした。窓ガラスもサッシではなく、木枠に挟まれた薄いもので、冬もすき間風が吹き抜けるようなところでした。校地内に用務員さんの住まいがあったり、「購買」と呼ばれるお店屋さんが学校内にあって、消しゴムや鉛筆、ノートや赤白帽子などが買えたりしたものでした。校庭には大きな柳の木があり、本校でいうところの落羽松のようなシンボルツリーでした。こんな風景が記憶に残っていて、そんな環境で友達と一緒に学校生活を送った数々の思い出もいまだに色褪せていません。私自身がそうであるように、6年間という長きにわたって生活していた校舎ですから、施設に対する思い出も数えきれないくらいあるのだと思います。

6年生はあとひと月ほどで、中学校へ進学になります。6年間お世話になった学び舎をきれいに清掃してくれる計画も今後あるようです。思い出のいっぱい詰まった学び舎を忘れず、新しい生活へ向かって頑張ってもらいたいと思います。これらの絵は、県道沿いのフェンスに掲示してあります。保護者の皆さん、地域の皆さんもお暇な時間がありましたら、是非ご覧になってください（スクールフェンスギャラリーは2か所あります。一か所は小学校学習棟（北側校舎）の西端、総合会館との間で、1～5年生までの作品を定期的に入れ替えながら展示しています。もう一か所が今回紹介しているところです）。それから、危険ですので、くれぐれも車の運転中の鑑賞は避けていただきますようお願いいたします。

